

鵜ヶ池町の通西寺で発見



見つかった廻国供養塔と(左から)野本欽也編集委員、伴野義広調査員、富永邦一さん

市内12件目の廻国供養塔 「七十郎」が江戸後期に建立

西尾市鵜ヶ池町の通西寺に、廻国(かいこく)供養塔があることが分かった。同寺の檀家総代で近くに住む富永邦一さん(69)の先祖「七十郎」が、江戸時代後期の天保六(一八三五)年、全国六十六ヶ所の霊場に納経する巡礼を達成した記念で建てたものとみられる。新編西尾市史民俗部の伴野義広調査員が見つけた。西尾市内では十二件目という。富永さんは「石塔の存在は知っていたが、まさか先祖が建てたものとは」と驚いている。

廻国供養塔 全国巡礼の達成記念碑

富永さん「先祖の偉業に驚き」

この廻国供養塔は高さ百五十五センチ、幅六十センチの舟形の自然石の表に「奉納大乗妙典 天下和順 日本廻国供養 日月清明 富永七重郎」と彫られている。富永さん宅で、富山県立山町にあった芦崎寺(あしかぎ)に、鵜ヶ池町の七十郎が宝鏡の「磨ぎ料」を納めた証文である「名鑑」が見つかり、今年七月二十二日に連絡を受けた伴野調査員が調べたところ、「天保五年」「日本廻国大行成 就者七十郎」とあるのを発見した。

野本欽也編集委員によると、市内で十二件目となる廻国供養塔と認定された。表面の左下には「下總 住(みん)忠吉(タキ)」とあり、伴野調査員は「何者か不明だが、巡礼中の同行者・協力者かもしれないし、もしかすると母親・息子・嫁の家族かもしれない」と推測。「七十郎」と下総(しもうさ)千葉県北部)との関係も分からないとしている。

富永さんは「子どものころ、通西寺の境内で遊んでいた時、石塔の存在は知っていたが、竹に覆われていて不気味に思っていた。まさか自分の祖先が建てたものだとは知らず、非常に驚いている。これからきちんと調べていきたい」と話している。

ネットをつなぐ自分のまち
三河新報社
shinpo.web

野本編集委員は「西尾は海や川といった荷物があふれる中、さまざまな信

を見て取った。伴野調査員は「六十六ヶ所の寺に納経する廻国供養は、民間信仰として江戸時代中期に盛んになった。現在の御朱印巡りの原型になる。信仰が第一義だが、秘蔵巡りのような好奇心もあったと思う。きつと、七十郎さんが廻国供養塔を建てた時、『土産話を聞かせてくれ』と村はお祭り騒ぎだったに違いない」と話していた。

水のある豊かな環境づくりを提案する
給排水・空調設備の設計および施工・メンテナンス
辻村工業株式会社
本社/西尾市桜町中新田62
☎(0563)5714124

8月2日(金)友引
日の出=5:01
日の入=18:56
満潮=6:10 19:22
干潮=0:25 12:50
(名古屋港標準)

“伺の日”
☆ホコ天
1970(昭和45)年、銀座などで初めて歩行者天国が実施された

庭のことなら

株式会社 梅松園
代表取締役 鈴木 宏明
西尾市齊藤町新田36 ☎(0563)56-2706(代)

暑中お見舞い
申し上げます

人気の定番
日替り定食
お楽しみ
下さい
さんれもん
※出前致します!
西尾市永吉三丁目55番地 ☎56-3398

明日をみつめて
一歩一歩着実に進みます
石原化学工業株式会社
代表取締役 石原達哉
本社・工場 愛知県西尾市一色町赤羽後田28-1
☎(0563)72-8687(代) FAX(0563)72-3638

各種高圧ガス
溶断口ポット・電動工具
株式会社 日本高圧瓦斯
西尾市徳次町宮廻30番地
TEL(0563)56-3393 FAX(0563)56-9636